

お元気ですか

南 恵子

です

日本共産党品川区議会議員 南恵子事務所 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

南恵子事務所
3790-1523



無料妊婦検診を増やして 品川 区議会

厚労省 公費負担は14回程度が望ましい

第3回定例会で、妊婦検診の無料化の拡大を求めました。この問題は、5年前から実現を求めてきたものですが、厚労省は通達で「公費負担は14回程度が望ましい」としています。それを受けてでしょうか、決算委員会でも民主、公明が無料化を求めました。実現できるよう頑張ります。

**厚生労働省が通達
公費負担は14回が望
ましい**

今年1月に、厚労省は各自治体に妊婦検診の公費負担の望ましいあり方についての通達を出しました。その通達には、「母体や胎児の健康確保を図る上で妊婦検診の重要性、必要性が高まっている」と述べています。そして、公費負担については「14回程度が望ましい」とまで言っていますので、5年前から取り上げてきただけに大きな確信になりました。

**14回の検診無料化は
2億円で可能**

現在、検診は14回程度が一般的ですが、無料検診は2回だけです。妊娠から出産までに必要な費用は70万円ともいわれています。それだけの費用を用意するのはなかなか困難です。そこで、無料で検診を受けられる制度をつくりたいとして2年から提案し続けてきました。14回全てを無料化するには2億円

必要ですが、品川区の財政状況は充分可能です。

**台東・杉並は14回無料
他6区が拡充に**

台東区と杉並区は14回の検診の全てが無料になっています。また、足立区・荒川区・板橋区・江東区・墨田区・中央区の6区が共産党の質問に対して拡充するという答弁を行っています。

品川区の答弁は、「5者協議を待つて検討する」というもので、今までに比べると期待できるかなと思うものの、まだハードルがあります。

しかし、今回の議会でのこの問題をとり上げたのは我が党だけでなく、民主、公明も質問したので3党からの要求でもあり、実現は時間の問題といえます。

少子化時代、元気に出産できるように体制整備が欠かせません。妊婦検診無料化と出産医療施設の整備をしっかり進めるよう取り組みます。

この問題で、みなさんのご意見を教えてください。

安心して出産したい 「出産難民」問題を質問

産科医不足をどう解消するかがカギ。
ドクターバンク、女性医師の仕事と育児の両立支援など提案

「出産難民」という言葉があるそうですが、みなさんをご存知ですか？

南は、この問題を決算委員会で取り上げ、解消策を3点具体的にあげて提案しました。紹介します。

少子化時代、元気に子そだてでき

る体制作りを進める取り組みをして
きましたが、出産することが困難に
なっているという実態は本当に驚き
です。以前では考えられなかった問
題です。今年の8月、奈良県で受け
入れてくれる医療機関が見つからず
に6時間も救急車の中で過ごし、と
うとう子どもを死産させてしまった
という悲しいニュースがありました。
安心して産める状況を早急につく
るために、南が提案した内容を報告
します。ご意見、ご要望などあれば
気軽にお寄せください。

提案1

奨学金制度

医学部卒業した後に都区内で働く
ことを条件に奨学金制度をつくるこ
とで医師の確保をする。

提案2

ドクターバンクの創設

退職した医師、離職している医師
などの元医者者を再就職を促進させる

ドクターバンクの創設は、短時間で
整備出来る問題です。

提案3

女性医師への支援

女性医師に携わってほしいという
希望は結構あるそうですが、女性医
師も自分の出産等でその後のフォ
ローがされず、退職するケースが多
いそうです。大変残念な事態だと改
めて感じました。どの職も同じです
が、仕事と子育てを両立できる体制
の整備は必要です。

品川区で出産難民を 出さないために

この問題は品川区だけで改善でき
る問題ではありません。

区内で出産できる医療施設は3ヶ
所（N T T 関東病院、東芝病院、昭
和大学病院）だといいます。区内で
開業している産科医院は今では検診
はしても分娩はしません。本当に安
心して出産できる医療施設を求める
声は大きくありますが、提案の
実現に今後力をつくします。

学習会

後期高齢者医療制度ってなんだ？

10月27日(土) 午後1時半～

平塚橋会館

講師 伊藤邦夫さん

75才になると今までの健康
保険ではなく、別の保
険に入ります。何で？
保険料はいくらなの？